

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日時及び場所	令和元年9月19日（木） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 近森 秀高 (大学院教授) 委 員 竹田 宣典 (大学院教授) 委 員 村上 恵子 (大学教授)	
審議対象期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年6月30日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	3件	
随意契約方式	1件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
	意見・質問	説明・回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 平成31年4月1日～令和元年6月30日）

【工事】

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
小田川付替え南山掘削他工事	一般土木工事	14	13	令和1年6月3日	小田川付替え南山掘削他工事鹿島・大本・荒木特定建設工事共同企業体	5,649,490	90.01	中国地方整備局（本局）

○一般競争入札方式：政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
国道53号栄町電線共同溝その3工事	一般土木工事	2	1	令和1年6月27日	（株）原田建設	84,150	93.35	鳥取河川国道事務所
国道9号・54号出雲嶺原植樹管理作業	造園工事	1	1	平成31年4月1日	（株）もちだ園芸	33,480	98.19	松江国道事務所
芦田川新市地区堤防強化外工事	一般土木工事	1	1	令和1年5月14日	富士建設（株）	150,700	98.93	福山河川国道事務所

○随意契約方式

工事名	工事種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
尾道松江線南部地区災害復旧工事	維持修繕工事	令和1年6月7日	若松建設（株）	147,840	98.53	三次河川国道事務所

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
太田川矢口第一流量観測外業務	測量	1	1	平成31年4月1日	（株）荒谷建設コンサルタント	37,800	97.17	太田川河川事務所

○簡易公募型プロポーザル方式

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
中国管内東部橋梁外点検評価業務	土木関係建設コンサルタント業務	1	1	令和1年6月6日	（一財）橋梁調査会	185,350	99.92	中国技術事務所

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（千円）	落札率（％）	備考
平成31年度中国地方整備局電気通信施設保守業務	役務[その他]	1	1	平成31年4月1日	（株）ケーネス	49,680	93.12	中国地方整備局（本局）

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不調状況 7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 8) 一者応札の発生状況 9) 不調・不落の発生状況 10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 毎年10月～12月に不調・不落の発生率が高い。これは発注件数が多いということか。</p>	<p>A 1. 国債工事は、下半期に発注することが多く発注件数が多くなることから、発生率が高くなっていると考えている。5箇年の平均から見ると、そこまで高い発生率ではない。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 小田川付替え南山掘削他工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格審査表のL社の「施工計画が適正である」が「×」になっている理由は何か。</p> <p>Q 2. 入札調書で、低入札で書類未提出ということで8社全てが「無効」となっている。低入札になった理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 標準的な施工計画の一部が未提出だったため、資料の不備ということで「×」になっている。</p> <p>A 2. 推測だが、予定価格が50億円を超える大型工事であったため、受注意欲が高く、落札者になるため調査基準価格のラインを狙ったものと考えられる。その結果、低入札が多くなったと考えられる。</p>
<p>2) 国道53号栄町電線共同溝その3工事</p> <p>Q 1. 総合評価落札方式が「チャレンジ型」で参加要件を広げているにも関わらず、同種工事の実績を求めているがどうということか。</p> <p>Q 2. チャレンジ型で発注した効果はあったのか。</p> <p>Q 3. 地上に柱状型機器が残るが、本事業のメリットは何か。</p>	<p>A 1. チャレンジ型は、工事の実績が少なくても参加できるようにしている。同種工事の実績は、工事の品質確保上重要な要素であることから評価項目としている。</p> <p>A 2. 今回受注した(株)原田建設は、国交省発注工事の受注実績が少ないため、効果はあったと考えられる。</p> <p>A 3. 狭幅員歩道において、電線共同溝の整備を可能とする手法であり、道路上の架空線が埋設されることで防災効果が発現される。</p>

<p>Q 4. 「その3工事」は柱状型機器を設置するという ことだが、「その1工事」「その2工事」は電線 共同溝本体工事ということでよいか。何故分割 発注したのか。一括発注した方が、少しでも安 価にならないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 4. 上下線での分離施工や本体と柱状型機器等、施 工形態や施工規模を考慮した発注規模としてい る。</p>
<p>3) 国道9号・54号出雲頓原植樹管理作業</p> <p>Q 1. 入札説明書の参加資格で、「技術者を専任で配 置できること」の意味は何か。</p> <p>Q 2. 毎年発注する工事なのか。また、受注者は毎 年違うのか。</p> <p>Q 3. 毎年受注しているということは、最低価格 を熟知しているため、競争性は低い。差がつ くとすれば技術的なところだろうが、一度良 い評価点をとると独占的になるのではないか。</p> <p>Q 4. 落札方式について、基準では「施工能力評価 型Ⅰ型」だが、技術的な工夫の余地が少ないと いうことで「Ⅱ型」で発注しているというこ とでよいか。</p> <p>Q 5. 総合評価落札方式を変更して良い基準はある のか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 建設業法では、請負代金が3,500万円以上 の場合は他工事と兼務できず、当該工事に専任し なくてはならないという意味である。但し、請負 代金が3,500万円未満の工事であれば複数工 事の兼任が可能である。</p> <p>A 2. 毎年発注する工事である。過去5年は同じ会 社が受注している。</p> <p>A 3. 差がつきにくい状況かもしれない。今後、競争 性が図られるよう改善に努める。</p> <p>A 4. その通りである。</p> <p>A 5. 補正予算の場合、効果を早くあげるため、本省 通知に基づく対応を行っている。</p>
<p>4) 芦田川新市地区堤防強化外工事</p> <p>Q 1. このような工事は他の事務所でも発注してい るのか。</p> <p>Q 2. このような工事は一者応札が多いのか。</p> <p>Q 3. 施工箇所について3箇所が発注しているが、 1箇所づつ発注すると入札者が増えるのではな いか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 一般的な工事であり、他事務所でも発注してい る。</p> <p>A 2. 当事務所では、過去の工事で3者程度応札して いた。</p> <p>A 3. 別々に発注すると、工事金額が下がり、不調・ 不落の原因となるため、3箇所まとめて発注をし た。</p>
<p>5) 尾道松江線南部地区災害復旧工事</p> <p>Q 1. 不調を繰り返しているが、よくあることなの か。</p>	<p>A 1. 平成30年7月豪雨災害の影響が大きいと思 われる。入札説明書をダウンロードした者に聞 き取りをしたところ、技術者が配置できないと</p>

<p>Q 2. 不調随契で契約手続きをすることで、これまで受注できなかった会社が受注できるのか。</p> <p>Q 3. 技術者の専任義務はないのか。</p> <p>Q 4. 受注意思の確認は1番から順番に確認するのか。</p> <p>Q 5. 順位はどのように決めているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>いうことであった。</p> <p>A 2. その通りである。</p> <p>A 3. 専任の義務がある。</p> <p>A 4. 1回目は20者程度、2回目以降は30者程度に受注意思の確認を行い、原則として、意思表示者が2者以上になるまで続ける。</p> <p>A 5. 過去の成績評点等施工能力の高い順に、順位を付けている。</p>
<p>6) 太田川矢口第一流量観測外業務</p> <p>Q 1. 大雨等の高水流量観測の作業前には待機していると思うが、出動指示はあるのか。</p> <p>Q 2. 作業歩掛はどうやって決めてるのか。</p> <p>Q 3. 水文観測には標準的なものとADCP計測によるものがあり、ADCP計測なら作業人数が減らせるのではないかと。浮子計測とADCP計測の使い分けは何か。</p> <p>Q 4. 参加者が1者となっているが、他地域でもこのようなものなのか。</p> <p>Q 5. 複数の会社が組んで受注できないのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 受注者は天候をみながらあらかじめ待機するが、発注者が出動の指示を行う。</p> <p>A 2. 標準歩掛があり、出動回数で変更契約を行っている。</p> <p>A 3. ADCP計測は一般的なものではなく、計測機器が高価で市場性が低く、受注業者も限られてくるため、現在は、標準的な浮子計測で実施している。</p> <p>A 4. 競争参加者が少ないのが現状である。</p> <p>A 5. 設計共同体という仕組みがある。</p>
<p>7) 中国管内東部橋梁外点検評価業務</p> <p>Q 1. 「評価基準を提案する」と高度なものになっているので、参加者が1者と少ないのか。</p> <p>Q 2. 参加可能者の527者のうち公的機関は何者あるのか。</p> <p>Q 3. 非営利団体である公的機関が受注すると、受注価格が下がり、価格競争にはならないのではないかと。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 地方自治体等も含め点検・診断の実績がある者は527者であるが、業務内容が高度なことから、履行範囲が中国3県にと広範囲となることから、参加者が少ないものと考えられる。</p> <p>A 2. 1者である。</p> <p>A 3. 一般企業も参加しやすいように、要件を緩和している。</p>

<p>8) 平成31年度中国地方整備局電気通信施設保守業務</p> <p>Q 1. 「総合点検」はシステム全体のため納品した会社でないと点検するのが難しいのではないかと。今回受注した会社は納品した会社なのか。</p> <p>Q 2. どの会社も履行できるのに、今回は何故1者入札なのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 今回受注した会社は納品した会社ではない。点検項目が定められており、どの者でも業務は可能である。</p> <p>A 2. ダウンロードした会社に聞き取りをしたところ、夜勤があるなど人員の確保が難しいとのことだった。</p>
<p>(3) 再苦情処理の報告</p>	
<p>該当事案なし</p>	
<p>令和元年度 入札監視委員会</p> <p>第3回定例会議（第一部会）の開催予定</p> <p>令和元年12月19日（木）14時30分～ 中国地方整備局 建政部 3階会議室 抽出委員 竹田委員</p>	